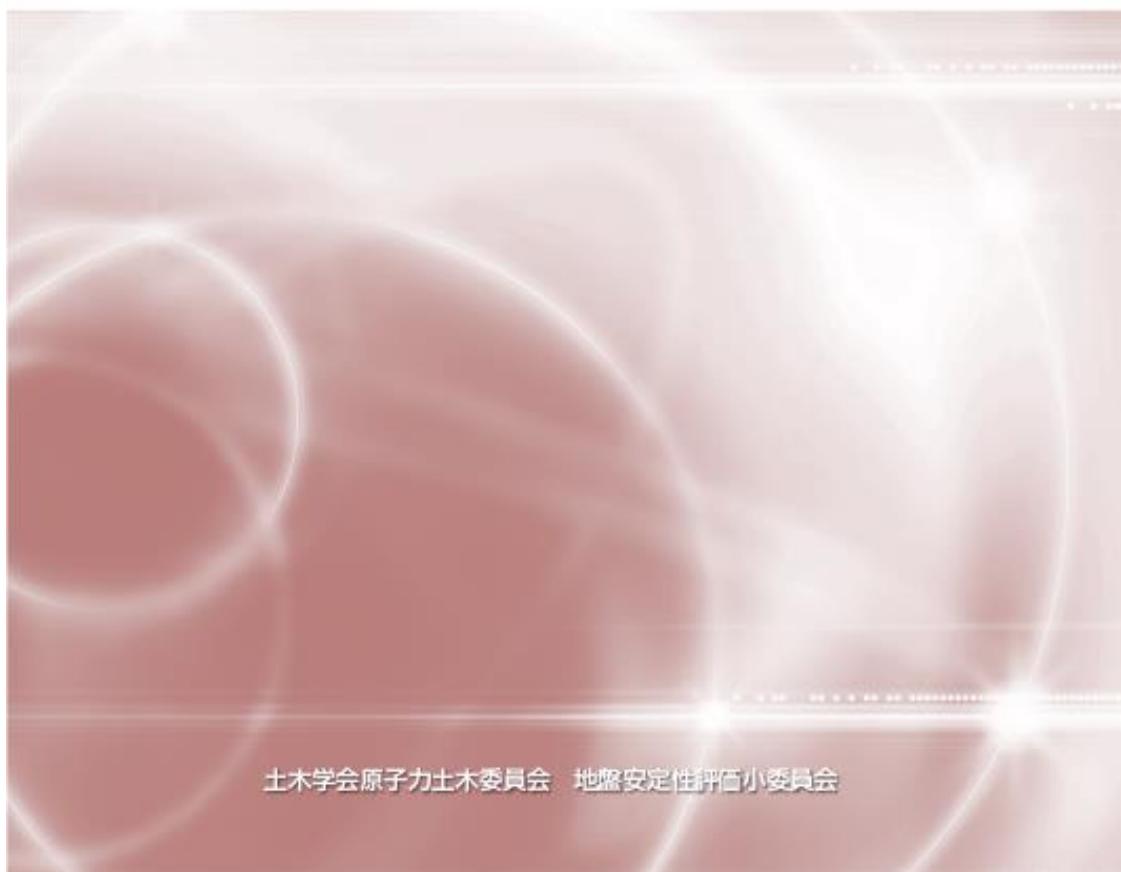


技術資料の表紙

原子力土木シリーズ 4

原子力発電所の基礎地盤 及び周辺斜面の安定性評価技術 <技術資料> 「2020年度版」

2021年7月



土木学会原子力土木委員会 地盤安定性評価小委員会

原子力発電所の基礎地盤及び周辺斜面の安定性評価技術<技術資料>（2020年度版）

目次

1. 地盤安定性評価小委員会の活動の概要	1
2. 断層変位評価手法	7
2.1 従来技術	7
2.1.1 概要	7
2.1.2 数値解析	10
2.1.3 地表地震断層データベース	12
2.2 新技術	15
2.2.1 数値解析	15
(1) 高性能計算による断層変位評価	15
(2) 断層の動力学的破壊進展解析による断層変位評価	21
2.2.2 リモートセンシングによる変位計測技術	25
(1) LiDAR-DEM 差分解析	26
(2) DInSAR 解析	30
2.3 適用例	35
2.3.1 数値解析	35
(1) 高性能計算による断層変位評価	35
(2) 断層の動力学的破壊進展解析	48
2.3.2 リモートセンシングによる断層変位データベースの拡張	56
(1) 2016年熊本地震	56
(2) 2014年長野県北部の地震	61
(3) 2011年福島県浜通りの地震	67
3. 地盤安定性評価手法	73
3.1 はじめに	73
3.2 従来技術（現行の評価手法）	73
3.2.1 全般	73
3.2.2 従来技術の課題	74
3.2.3 対策工を含む斜面の地震時安定性評価の現状と課題	77
3.3 新技術（新しい評価手法）	79
3.3.1 地震時の変位量および移動量の評価	79
3.3.2 対策工を含む斜面の地震時安定性評価	79
3.4 適用例	81
3.4.1 軟岩斜面の時刻歴非線形解析	81

(1) 解析手法.....	81
(2) 対象とする動的遠心力模型実験	83
(3) 時刻歴非線形解析による再現計算.....	89
(4) まとめ.....	94
3. 4. 2 基礎地盤の時刻歴非線形解析	95
(1) 解析手法.....	95
(2) 対象とする動的遠心力模型実験	97
(3) 時刻歴非線形解析による再現計算.....	103
(4) まとめ.....	106
3. 4. 3 抑止杭工斜面の地震時安定性評価.....	107
(1) 抑止杭工斜面の地震時安定性評価フロー	107
(2) 対象斜面と杭設計	108
(3) 対象斜面の遠心力模型実験.....	110
(4) 安定性評価フローの検証.....	112
(5) まとめと今後の課題.....	115
3. 4. 4 アンカーエクスカーブを有する斜面の地震時安定性評価.....	116
(1) アンカーエクスカーブを有する斜面の地震時安定性評価フロー	116
(2) 定着部の残留アンカーエクスカーブの評価	117
(3) アンカーエクスカーブ引抜き試験のシミュレーション	120
(4) まとめと今後の課題.....	123
4. 斜面崩落評価手法	125
4. 1 はじめに.....	125
4. 2 従来技術（現行の評価手法）	127
(1) 崩落岩塊の影響範囲.....	127
(2) 衝撃力.....	127
4. 3 新技術.....	133
4. 3. 1 到達位置の確率分布の評価と質点系解析	133
(1) はじめに.....	133
(2) 落石挙動の分布に注目した評価の例.....	134
(3) 検討に用いた質点系解析の概要	136
(4) 質点系解析による落石実験の再現性.....	138
4. 3. 2 個別要素法	140
(1) 斜面崩落解析の流れ.....	140
(2) 個別要素法のモデル化方法	141
(3) 岩塊崩落による到達距離解析	144
(4) 岩塊衝突による衝撃力解析	145

4.3.3 不連続変形法	146
(1) 三次元粒状体 DDA の概要	146
(2) 解析パラメータの設定	149
(3) バラツキの考慮	149
4.3.4 エネルギー法	150
(1) 地震時斜面崩壊におけるエネルギー収支	150
(2) エネルギー法による斜面流動量の評価法	152
4.4 適用例	154
4.4.1 パラメータの寄与度分析	154
4.4.2 粒子サイズの検討	159
4.4.3 調査データに基づいた岩盤斜面の岩塊ブロックサイズの評価方法の提案	161
(1) 既往の岩塊ブロックサイズの指標	161
(2) 岩塊ブロックサイズの評価方法の提案	161
4.4.4 浅いすべり線の崩落	166
(1) 崩壊領域の設定	166
(2) 到達距離解析	166
4.4.5 深いすべり線の崩落	171
(1) 崩壊領域の設定	171
(2) 到達距離解析	171
4.4.6 岩塊の反発係数の決定	174
(1) 反発係数	174
(2) 鉛直落下試験	175
(3) 実規模斜面落石実験	178
(4) 実験の再現解析	179
4.4.7 転がり抵抗を導入した崩落解析	182
(1) 転がり摩擦	182
(2) シリンダを用いた安息角の実験と再現解析	183
(3) 実被害における安息角の再現解析	185
(4) まとめ	188
4.4.8 弾性理論による衝撃力	189
(1) 個別要素法による衝撃力解析	189
(2) コンクリート外壁の損傷評価例	191
4.4.9 岩塊の破碎を考慮した衝撃力	194
(1) 衝突破碎を考慮した解析モデル	194
(2) 衝突破碎を考慮した衝撃力解析	197
4.4.10 質点系解析	200

(1) 原子力発電所を対象とした地震時リスク評価のための質点系解析	200
(2) 一般道路を対象とした落石の危険度解析と最適対策工配置	204
4. 4. 11 三次元粒状体DDAによる崩落解析の例	207
(1) 解析の概要	207
(2) 解析結果	209
(3) まとめ	212
4. 4. 12 エネルギー法の適用例	212
(1) 模型振動実験	212
(2) 実際の斜面崩壊データ分析と摩擦係数の逆算	213
(3) まとめ	217
5. リスク評価手法	219
5. 1 設計超過事象への対応	219
5. 1. 1 設計超過事象 (BDBE: Beyond Design Basis Event)へのこれまでの対応	219
5. 1. 2 BDBEに関する現在の議論	220
(1) IAEA	220
(2) Canadaの規制基準	222
5. 1. 3 リスク評価の必要性	224
(1) リスク論・リスク評価が必要な理由	224
(2) 基礎地盤・斜面を対象とした状況	224
5. 2 従来の手法（基礎地盤・斜面の地震時損傷確率評価）	225
5. 3 試解析例	226
5. 3. 1 原子力規制庁プロジェクト	226
(1) はじめに	226
(2) 地震起因の斜面崩壊に関する影響評価の基本的な枠組み	228
(3) 各限界状態に対するフランジリティ評価事例	230
(4) あとがき	238
5. 3. 2 原子力リスク研究センター共同研究	240
(1) 基礎地盤を対象としたリスク解析	241
(2) 周辺斜面を対象としたリスク解析	247
5. 4 まとめと今後の課題	254
5. 4. 1 不確実さ評価	254
5. 4. 2 検証と妥当性確認 (V&V)	255
(1) はじめに	255
(2) V&Vに関するこれまでの取り組み	255
(3) 最新の取り組みと今後の課題	256
5. 4. 3 システム上の機能維持	258